



雨の日も晴れの日も

●どんなときも一緒に素敵な夫婦を紹介

菊 地 諒 さん (30)  
なつみ さん (31)  
＝水沢区字北栗林＝

華やかな衣装や演舞で、祭り  
を彩る市内のよさこいチー  
ムの一つ、水沢絆舞連<sup>はんぶん</sup>。その  
一員である菊地諒さんは妻の  
なつみさんに支えられ、踊り  
に取り組んでいます。

水沢出身の諒さんと胆沢出  
身のなつみさん。二人の出会  
いは友人の結婚式の2次会で  
した。当時なつみさんは仙台  
で暮らしていたため、遠距離  
恋愛で愛を育み、3年前に結  
婚しました。

そんな二人の間にことし生まれたのが悠里くんです。現在6カ月で「日々成長していくのを見るのが楽しい」という二人。保育士資格を持つ諒さんは育児にも積極的で「子どもの世話をしてくれて助かっています」と感謝するなつみさんです。

子育てをしながらも、踊りの手は抜かない諒さん。踊りに興味を持ったのは厄年の活動がきっかけで、友人の誘い

6年目の今は振り付けを担当し「9月のYOSAKOI in 水沢では新曲を披露します」と意気込みます。

本市はバーベキューができる所が多くて好きだという二人ですが、祭り会場となる水沢駅前の様子に寂しさを感じています。「祭りのときにも利用できる、人が集まって一息つける場所や店が増えていってほしいですね」とまぢへの思いを語る二人でした。

が、いかがお過ごしですか。

先月、市と江刺中核工業団地内の医療機器製造業(株)エイアンドティーが、工場増設に係る調印式を行いました。臨床検査の試薬などを製造する工場の増設で、来年9月に操業を開始し、約30人の新規採用を見込んでいます。同社のさらなる発展と雇用拡大を大いに期待します。

奥州コクロクフェスティバル実行委員会から日赤奥州市地区に、熊本地震被災地支援のチャリティイベントの益金など40万円が寄贈されました。同フェスティバルは、水沢、江刺、前沢各区の25歳・42歳厄年連・年祝連など16団体が被災地を支援しようと実施したものです。思いやりと友情の輪に勇気をいただきました。ありがとうございます。

勝ち見事優勝！ 2戦目は5番指名打者で出場し、ソロ本塁打を含む3安打2打点でMVPに輝きました。才能溢れる二刀流大谷選手の後半戦の活躍に大いに注目です！

先月、奥州前沢よさこいFestaが開催されました。県内外42チーム、約千人によるオリジナルの踊りや総踊りで会場は熱気に包まれました参加者の皆さん、ボランティアアスタップの皆さん、まさに元気を与えていただき、ありがとうございました。

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会開催まであと2カ月に迫りました。市ではさまざまなイベントで盛り上げを図っています。一人でも多くの市民に会場に出向いていただきたいと願っています。

奥州市長 小沢昌記

奧州市長 小沢 昌記



懸田 雄斗くん  
(江刺区・玉里小学校6年)

Interview

——学校での役割は？

児童会運営委員長です。運動会のスローガンなどを決めるとき、みんなの意見をまとめます。仕事は大変だけど、自分でも意見を出せるのがいいです。

——いちばんの思い出は？

毎年夏休みに京都の伯母の家へ泊まりに行くことです。ことしも祖母、兄、弟と行く予定で、スポーツ施設などでいとこたちと遊ぶのを楽しみにしています。

——好きなスポーツは？

サッカーです。幼稚園のころに近所の年の離れたお兄さんた

ちに誘われたのが始めたきっかけ。3年生から江刺サッカースポーツ少年団に入っています。ドリブルでかわしたりシュートを打ったりするのが楽しいです。

——将来の夢を教えてください。

プロのサッカー選手です。テレビで見たプロのすごいプレーに憧れ、自分もそうなりたいと思いました。

——夢を叶えるために、頑張っていることは何ですか？

スポーツ少年団で技術を学んでいます。1対1で負けないようになりたいです。



中高生の部活動や  
委員会活動を紹介

青春讚歌

衣川中学校  
合唱専門委員会

## 合唱練習のまとめ役 伝統に思いを込めて

衣川中学校で、合唱関連のイベントの企画・運営や練習の指導などを行い、全校をまとめている合唱専門委員会。各学年から選ばれた総勢 12 人の委員が、男女協力し合いながら活動しています。

合唱専門委員会が取り組んでいるのは全校合唱。コンクール出場は目的とせず、校内行事などで披露します。「全校合唱は先輩たちから受け継いだ伝統です」という委員長の菅原優佳さん。委員会のスローガンにも「委員の全員が合唱に対する意識を高く持ち、伝統を引き継ぐ」と掲げ、伝統を強く意識しています。委員3年目で副委員長の千田洋平君は伝統に触発されて委員になった一人。「小学6年生のとき全校合唱に触れ感動し、自分でも作り上げたいと思った」と語ります。顧問の千田先生は「伝統

といっても簡単に途切れる。引き継いでいくためには自分たちの頑張りが必要」と委員たちを激励します。

10月の文化祭は、地域の人にも合唱を聞いてもらう機会です。ことしの全校合唱は男女の偏りがあることが不安材料と言いながらも菅原委員長は「しっかり練習して、人が少ないパートでも声が出せるようにしたい」と改善に意欲を燃やします。「地域の人に衣川中学校の合唱を知ってもらいたい。感謝の気持ちを込め歌いたい」と意気込みを語ってくれました。

